

令和5年度第2回沿岸広域振興圏地域連携懇談会における御意見に係る対応状況

開催日時：令和5年12月12日(火) 午後2時30分～午後4時30分

開催場所：釜石情報交流センター 多目的集会室(釜石PIT)

No.	御意見	対応状況	
		所管	内容
1	<p>【荒谷 榮子 構成員】</p> <p>東日本大震災から12年が経過し、こころのケアや風化等様々な課題があるが、皆で集まって課題を共有する機会が非常に大事だと考える。</p>	経営企画部 企画推進課、 保健福祉環境部	<p>東日本大震災津波については、国内外に事実と教訓を風化させることなく伝承していくことが重要であり、沿岸局では、「震災教訓伝承発信ガイドセミナー」を開催し、震災教訓伝承・発信ガイド同士の意見交換等を行うほか、震災語り部動画やSNSを活用し、震災の教訓や復興をはじめとした三陸地域の情報について、効果的な伝承・発信に取り組んでいます。また、本懇談会のほか、沿岸局、管内市町村、関係機関が参集する「現地復興推進会議」等、様々な機会に意見交換を行っており、引き続き、多様な主体に参画いただきながら取組を展開していきます。</p> <p>なお、こころのケアについては、市町村と連携し、地域住民を対象とした「被災地の交流型健康づくり教室」を開催するとともに、「被災地のこころのケア」をテーマに、関係機関・団体の支援者を対象とした実務者研修会を開催し、関係機関・団体の活動の相互理解と連携強化に取り組んでいるところです。</p>
2	<p>【荒谷 榮子 構成員】</p> <p>災害公営住宅の空室への新しい入居者がいないことについて懸念している。</p>	土木部	<p>災害公営住宅を含む県営住宅の入居募集については、年5回の定期募集と常時募集を行っているところです。</p> <p>なお、入居率の向上を目的に、今年度から周知方法等の見直しを検討しているところです。また、県外からの移住定住促進を目的とした「いわてお試し居住体験事業」や低廉な住宅の提供により若者の活躍支援を目的とした「若者・地域応援住宅支援事業」を通じて、入居率の向上にも努めています。</p>
3	<p>【佐々木 康行 構成員】</p> <p>東京アンテナショップのPRモニターを活用し観光PRを図る事業について、実際にモニターを立ち止まって見ている方は見受けられず、あまり効果はないと感じる。Google等の様々な広告を活用し、観光や移住定住の情報発信をした方がよいのではないかと。</p>	経営企画部 産業振興室	<p>御意見をいただいた、「東京アンテナショップのPRモニター活用事業」については、より効果的な情報発信を検討していくこととし、今年度の実施を見送ることとしました。</p> <p>なお、移住定住については、県のUIターンポータルサイトをさらに充実させ、実際の移住者の体験レポートなども紹介しています。</p> <p>また、観光については、令和5年度、SNSキャンペーン「三陸冬色さがしフォトキャンペーン」を実施し、取組の周知に力を入れた結果、投稿数が前年度の約5倍(1,118件)となるなど、一定の効果があつたところです。令和6年度においても、秋季にJR重販期間と連携して同様の取組を実施する予定です。</p>

No.	御 意 見	対 応 状 況	
		所 管	内 容
4	<p>【佐々木 康行 構成員】</p> <p>旅行者を呼び込むため、二次交通、三次交通について検討していかなければならない。</p>	経営企画部 企画推進課、 産業振興室	<p>沿岸局では、市町や交通関係者等により構成される「バス路線活性化検討会」等へ参加し、関係各機関等とともに住民や旅行者の利便性向上に向けた意見交換を行っています。</p> <p>なお、観光においては、交通事業者と旅行エージェントを訪問し、ツアー商品の造成・催行につなげる活動を実施しており、令和6年度も継続して取り組みます。特に、創業40周年となる三陸鉄道との連携を意識した誘客を促進します。</p>
5	<p>【河野 通洋 構成員】</p> <p>首都圏からの集客については、仙台空港や仙台駅をハブにして周遊を促進するような集客が有効と考える。</p>	経営企画部 産業振興室	<p>本県への誘客については、御意見をいただいたとおり、仙台圏をより意識しながら、新たな交通ネットワークや東日本大震災津波伝承館等を活かした観光誘客を促進することが重要と認識しています。沿岸局では、仙台の旅行エージェントを対象としたプロモーション等に取り組んでいますが、令和6年度は、新たに東北観光推進機構等を訪問し、一層の連携を図ることとしています。</p> <p>また、東日本大震災津波伝承館をゲートウェイとするツアー商品の造成・催行を支援しており、さらなる誘客につなげるよう、引き続き、同様の取組を継続していきます。</p>
6	<p>【河野 通洋 構成員】</p> <p>地元で様々な商業施設を運営しているが、道の駅にパンフレットを置こうとしても断られてしまい、回遊していただく機会がつかられなくなると市内の事業者で問題視している。</p>	経営企画部 企画推進課	<p>御意見いただいたとおり、観光客が地域内を回遊しやすいよう、多くの旅行者が訪れる道の駅などにおいて効果的な情報発信を行うことは重要と考えています。</p> <p>道の駅高田松原では、県や市町村の観光パンフレット等は配架しているとお聞きしており、いただいた御意見については、道の駅を所管する市の担当部署へ情報提供しています。</p>
7	<p>【内金崎 加代子 構成員】</p> <p>みちのく潮風トレイルについて、スタンプポイント(スタンプの設置場所)を増やしてもよいのではないかと。 また、迎える側がもっと歓迎できるようになればよいと思う。</p>	経営企画部 産業振興室	<p>御意見いただいたスタンプの設置場所を増やすことについては、認定NPO法人みちのくトレイルクラブへお伝えしたところであり、同クラブ等の関係機関・団体と意見・情報交換等を行いながら、みちのく潮風トレイルの一層の盛り上がりやPRにつなげていきたいと考えています。</p> <p>また、沿岸局では、みちのく潮風トレイルをはじめとする三陸ならではの地域資源を活用した観光地域づくりの推進と受入態勢を強化するため、令和6年5月22日、外国人ハイカーの受入セミナーを開催しました。環境省では、みちのく潮風トレイル全線開通5周年を記念した式典やウォーキングイベントを開催したところです。</p>
8	<p>【内金崎 加代子 構成員】</p> <p>介護認定について、スピーディーな審査をお願いしたい。 また、お年寄りの方が生きがいをもって元気に過ごせるような場が必要ではないかと。</p>	保健福祉環境部	<p>要介護認定について、実施主体は市町村ですが、平成30年度から、更新申請の場合であって一定の要件を満たす場合に介護認定審査会を簡素化し実施することが可能となっています。なお、令和5年度に、簡素化の取組を実施している自治体へのヒアリング調査のとりまとめ結果が厚生労働省より発出されたことから、市町村に対し、要介護認定審査業務の参考とするよう通知しています。</p> <p>また、県では、高齢者の生きがいを高め、健康で豊かな活力ある高齢社会を形成するため、地域の活動団体やNPO、老人クラブ等が実施する清掃奉仕活動や地域での見守り活動等、多様な地域貢献活動や健康づくり活動等を支援しています。</p>

No.	御 意 見	対 応 状 況	
		所 管	内 容
9	【内金崎 加代子 構成員】 先日、都庁にて観光協会から商品を取 売してもらえる機会があり、そのような 情報があれば提供いただきたい。	経営企画部 産業振興室	県内外への販路の拡大は、今後より一層重要度を増すと認識しています。現在、管内の事 業者の皆様に対しては、メーリングリスト等により、主に沿岸局や県等が主催する商談会や フェア等について、情報提供しているところであり、引き続き、ニーズに沿ったお手伝いが できるよう取り組んでいきます。
10	【佐々木 淳子 構成員】 高齢の要支援の方々を援助する有償ボ ランティアを行っているが、そのような 団体に対して支援していただきたい。	経営企画部 企画推進課、 保健福祉環 境部	県では、多様な主体の参画・連携・協働を推進する拠点として「NPO活動交流センター」 を設置し、各種相談やセミナー等の実施によりNPO法人やボランティア団体等の活動促進 に向けた支援を行っています。 また、「岩手県高齢者社会貢献活動サポートセンター」を設置し、高齢者団体・個人への支 援を行うための情報交換・活動報告の場の提供や各種助成金に係る情報提供、申請支援を実 施しており、相談窓口も設置していますので御活用願います。
11	【赤坂 広太 構成員】 三陸ジオパークやみちのく潮風トレイ ル等を活用した環境学習活動の取組の支 援について、三陸ジオパーク推進協議会 でも学校に対する補助を行っているが、 振興局からも学校側に対する補助金等が あってもよいのではないかと。また、学校へ の提案は、次年度の計画に環境学習等を 盛り込んでいただけるとよい。早めに提案 をした方がよいと考える。	保健福祉環 境部	沿岸局では、環境学習活動について、学校に対しての直接の補助は行っていませんが、様々 な世代が関わることが重要であるとの考えに立ち、今年度も地域経営推進費を活用して、環 境保全団体に委託し、地域の子どもたちが参加する環境学習事業を実施します。引き続き、 三陸ジオパークやみちのく潮風トレイルを活用した環境学習などの活動の促進に向け、効果 的な事業実施に取り組んでいきます。
12	【赤坂 広太 構成員】 誰もが気軽にスポーツを楽しめる機会 の創出について、開催時期を工夫した方 がよいと考える。	経営企画部 企画推進課	今年度は、「みちのく潮風トレイル」を活用したウォーキング等のスポーツ体験会の実施 を予定しています。公募により事業者は既に決定しており、提案内容を踏まえながら、誰も が参加しやすく、より楽しめるような時期・内容となるよう検討し、実施します。
13	【赤坂 広太 構成員】 震災学習等を活用した交流人口拡大に ついて、東北観光推進機構でモデルコ ースを作成しているようなので、これをP Rする等の協力をしていった方がよいと 思う。	経営企画部 産業振興室	御意見いただいたとおり、沿岸局では、観光誘客拡大に向け、東北観光推進機構をはじめ、 三陸DMOセンターや市町村、地域DMO、観光事業者と情報共有し、連携を図ることは重 要と認識し、協力して取組を進めているところです。 震災伝承や教育旅行等による誘客・周遊の促進と交流人口の拡大に向けては、旅行エー ジェントを訪問し、モデルコースをPRするなど、東日本大震災津波伝承館をゲートウェイと するツアー商品の造成・催行の実現につなげています。

No.	御 意 見	対 応 状 況	
		所 管	内 容
14	【山元 一輝 構成員】 公共事業の中長期的な事業費の見通しの公表をお願いしたい。	土木部	公共事業費について、安定的に予算を確保していくことが必要であり、そのためには、国費を確保していくことが重要です。 このため、県では、令和7年度政府予算に関する提言・要望において、公共事業予算の安定的・持続的な確保などを提言・要望したところです。 引き続き、様々な機会を捉えて国に働きかけていくなどし、公共事業予算の安定的・持続的な確保に努めていきます。
15	【山元 一輝 構成員】 クルーズ船について、2泊3日くらいの身近で利用しやすいプランがあれば、利用が増えると思う。	土木部、経営企画部産業振興室	クルーズ船の寄港は、オプションルツアー等により、沿岸地域をはじめ、県全体への経済効果の波及や交流人口の拡大が期待されることから、県では、市町村等と連携し、御意見のありました短期間の船旅が楽しめるチャータークルーズや多くの富裕層が乗船する外国船社クルーズ船等の寄港拡大に向けた取組を進めているところです。また、沿岸局では、クルーズ船寄港時のおもてなし活動や旅行会社等の訪問によるオプションルツアー提案により、観光周遊や再訪の促進を図っているところです。 令和6年度は、宮古港では過去最多の9隻、大船渡港では2隻の寄港が予定されている中、9月には「にっぽん丸」が宮古港に発着し、2泊3日のクルーズが行われます。 引き続き、クルーズ船等の寄港拡大と利用者増加に取り組んでいきます。
16	【河野 通洋 構成員】 観光誘客を促進するため、入込客数と客単価等に係るデータを踏まえて施策を検討していくべきと考える。	経営企画部産業振興室	御指摘のとおり、観光誘客を促進するためには、効果的なデータの収集・分析・活用により、観光客のニーズを捉えた取組が重要と考えており、県では、様々なデータを一元管理し、マーケティングに活用できる「いわて観光データマネジメントプラットフォーム（DMP）」の整備を進めています。観光統計については、市町村別の入込客数や客単価データ等を県のホームページにて公開しています。このほか、有用なデータについては、個別に御相談いただければと思います。
17	【志田 宏美 構成員】 復興道路が二車線化する予定があれば教えていただきたい。また、休憩できる場所が非常に不衛生な状態になっているため、せめてトイレだけでも何か所か整備していただきたい。 また、復興道路の雑草について対策していただきたい	土木部	復興に向け、新たな交通ネットワークが整備された中、さらなる利便性向上に向け、様々な御意見があることは承知しています。 三陸沿岸道路等の維持管理は、国土交通省が行っており、いただいた御意見については、会議等の場を活用し、適時適切に国にお伝えしていきます。